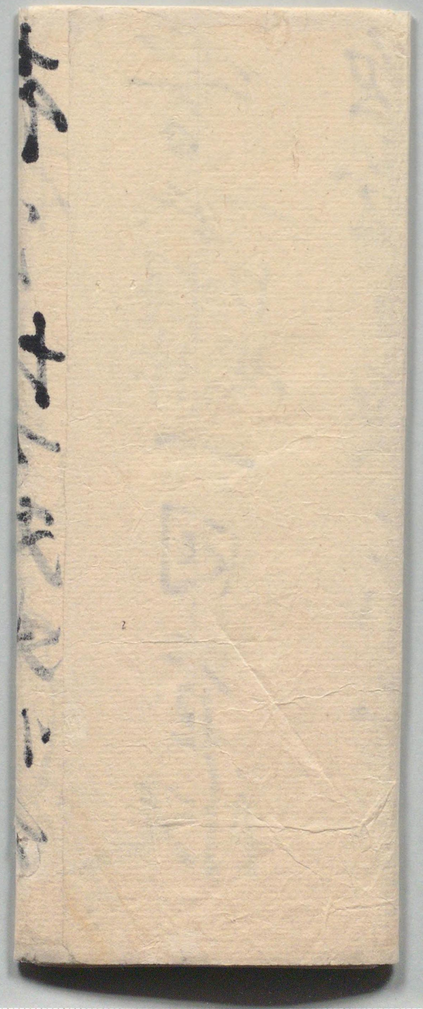
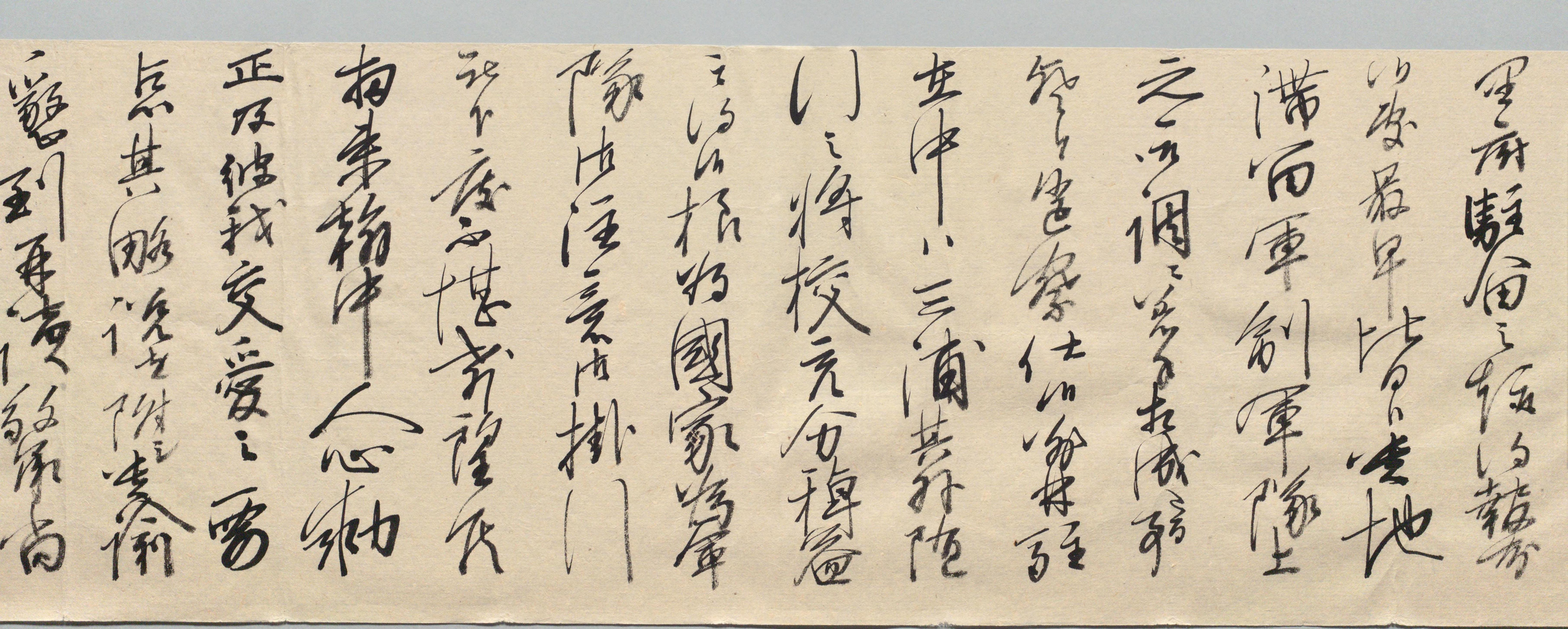


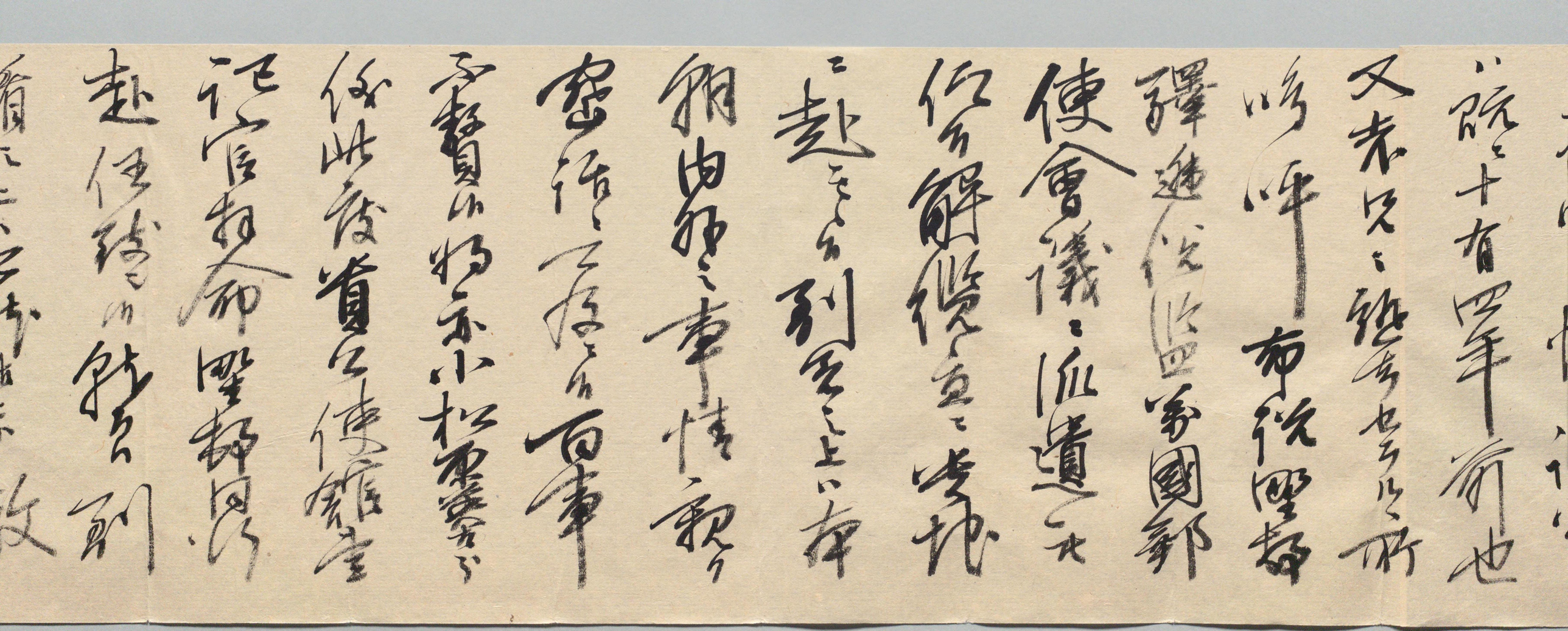
国立国会図書館　青木周蔵関係文書（その2）13-2



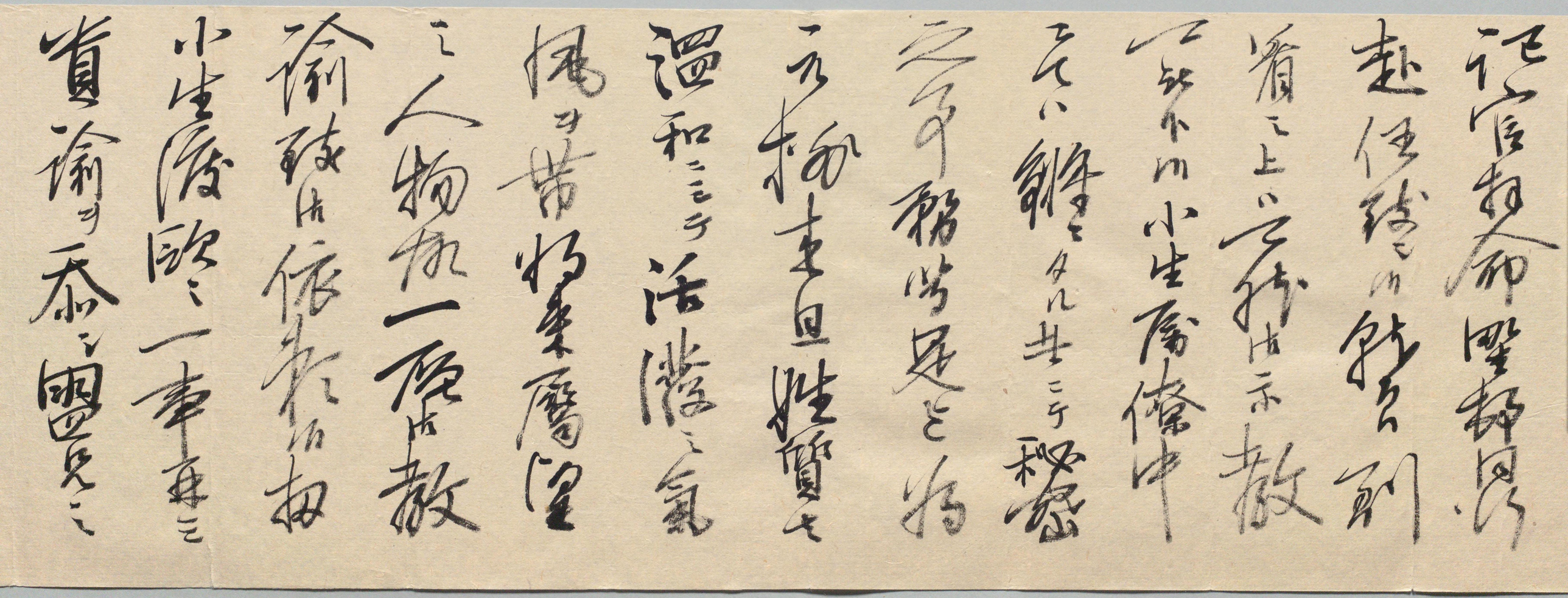
国立国会図書館　青木周蔵関係文書（その2）13-2

正及彼我交愛之雪
点其脈絡を附し嘗衛
鑿到再責了敬承尚
研窮蘊奥秘密
之境へ入ラント注意急
強莊嚴各々以活眼
讀活書者寥寥寂々
況學問的と実際的と
須臾と不可離之ヲ併
リシテ実施スルニ困難
如何ヤ口晩途遠
唯浩嘆之一語ニ止矣而
シテ小生頭海漫游ヲ回
想スルニ茫平トシテ如夢

シテ小生歐洲漫游ヲ回
想スルニ茫平トシテ如夢
錦地滞留中外務
官ニイハルト我勅諭スルニ
暫時歩ヲ止メ相應
學ヲ可學トノ一語今
尚存耳々底然トモ小生
曉學又各勉驗奉何
如ニ少年學ヲシテ渡
歐留學セシメントス所生
十年ニ浮世ハ此
一語以可悔ト雖ト
ハ既ニ十有四年前也
又未見ニ終焉セラルヽ所



国立国会図書館　青木周蔵関係文書（その2）13-2



国立国会図書館　青木周蔵関係文書（その2）13-2

小生渡欧ニ一事再ニ
貴諭ヲ忝ニ畏ニ
勵告沁肌骨無不
到懇切ニ去所謝候
財機ヲ以論諫ヲ開
素志ヲ遂ク今ニ活ハ
松ニ生ニ心事ニ於菴
不孫志ニ深陳ニ致ハ
將亦事諭中ニ
松ニ待書子ニ陳恩
十九ノ訓戒多謝ニ後
母子共健康女吹ニシテ
信ニ多ク以ハ松ニ会聞ニ

母子共健康女吹ニシテ
信ヒ多ク比ハ松ニ会閑ヲ
二統ハ致齋 二次不ハ
其中然ハ為國家
ハ自重是祈
学ニ教

十七

七月七日 有朋

琴棋盟兄
梧ハ

松尚族賊産説書
[illegible]

了解致候事ニ一
昨年来尚族創
度設立見地中

国立国会図書館　青木周蔵関係文書（その2）13-2